

# 教育委員会会議録（6月定例会）

日 時

令和元年6月25日（火）  
午後1時30分から午後2時30分まで

場 所

日立市役所 庁議室

出席委員

|          |       |
|----------|-------|
| 教育長      | 中山 俊恵 |
| 教育長職務代理者 | 中村 雅利 |
| 委 員      | 朝日 華子 |
| 委 員      | 土屋 静治 |

委員以外の出席者

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 教育部長               | 窪田 康德 |
| 総務課長               | 松本 正生 |
| 学校施設課長             | 石川 涉  |
| 学務課長               | 中島 修  |
| 学務課課長              | 鈴木 伸治 |
| 生涯学習課長             | 飯塚 優  |
| 指導課長               | 森山 秀一 |
| 指導課課長              | 稲田 訓子 |
| 郷土博物館長             | 豊田 瑞穂 |
| 記念図書館長(兼)視聴覚センター所長 | 山田 美幸 |
| 教育研究所長             | 小池 洋一 |
| 北部学校給食共同調理場長       | 荒川 敏明 |
| 総務課課長補佐(兼)庶務係長     | 鷺 秀哉  |
| 総務課課長補佐(兼)計画財務係長   | 酒地 康彦 |
| 総務課主幹              | 吉野 成実 |
| 総務課主幹              | 芳賀 秀人 |

## 議 事

### 報 告

報告第 6 号 教育委員会 5 月定例会の会議録について

### 議 案

議案第 2 3 号 日立市立小中学校学区審議会委員の委嘱について

議案第 2 4 号 日立市郷土博物館協議会委員の任命について

### その他

- (1) 令和元年第 2 回市議会定例会について
- (2) 第 7 次行財政改革の推進状況について
- (3) 平成 3 0 年度審議会等の開催状況について
- (4) 教育委員会関連行事等について
  - ア 学校夏季休業期間中の教育委員会関連行事について
  - イ 日立市一斉ラジオ体操の日の実施について
  - ウ 第 6 2 回桐生市臨海子ども会の実施について
  - エ 第 9 0 回都市対抗野球大会について
  - オ 令和元年度日立市教育振興大会の開催について

# 会 議 の 概 要

## 1 開 会

教 育 長 それでは、只今から6月の教育委員会定例会を開催します。  
本日は、傍聴希望者が1人おります。  
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

(傍聴人入室)

## 2 報 告

報 告 第 6 号 教育委員会5月定例会の会議録について

教 育 長 それでは、まず、報告第6号について御意見を伺います。  
いかがでしょうか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

## 3 議 案

議 案 第 2 3 号 日立市立小中学校学区審議会委員の委嘱について

教 育 長 それでは次に、議事に移ります。  
議案第23号について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長 日立市立小中学校審議会委員は、令和元年6月30日をもって任期満了となるので、新たに委員を委嘱するものです。

任期は、令和元年7月1日から令和3年6月30日までです。

委員は、市内小中学校長やPTA役員、市議会議員、学識経験者、市職員で構成されており、今回9人の方が新たに委員となります。

日立市立小中学校学区審議会は、教育委員会の諮問に応じ、小中学校の学区に関する事項を審議し、教育委員会に答申する組織です。

教 育 長 それでは、議案第23号について、可決することによろしいでし

ようか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第23号については、原案可決と決しました。

議 案 第 2 4 号 日立市郷土博物館協議会委員の任命について

教 育 長 次に、議案第24号について、郷土博物館長から説明をお願いします。

郷土博物館長 日立市郷土博物館協議会委員に欠員が生じたので、新たに委員を任命するものです。

任期は、令和元年6月25日から令和2年4月30日までです。

新たに委員となるのは、横倉 要次 氏、梶 清文 氏、吉田 修一 氏の3名で、それぞれの母体となる組織の異動・任命替えに伴う欠員補充となります。

教 育 長 それでは、議案第24号について、可決することよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第24号については、原案可決と決しました。

#### 4 そ の 他

(1) 令和元年第2回市議会定例会について

教 育 長 続きまして、その他に移ります。  
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教 育 部 長 令和元年第2回市議会定例会については、令和元年6月12日から6月27日までの会期となっています。

今回、会派代表質問が2人、一般質問が7人、議案質疑が3人、それぞれ各議員からございました。

質問の内容について、概要を説明いたします。

まず、会派代表質問から御報告します。

1人目は、民主クラブの吉田 修一 議員です。教育施策について、市長から答弁いたしました。

社会のグローバル化や技術革新が急速に進展する中で、具体的な人材育成を念頭に置いた教育、更には具体的な教育方針を確立していくのか見解を伺うという御質問でした。

こちらに対しましては、新学習指導要領を踏まえつつ、小学校1年生からの英語教育、プログラミング教育などを推進し、これからも、まち全体で子どもたちを支え、子どもたちが夢と志を持ち、「これからの時代を生き抜く力」を身に付けられるよう「未来を拓く人づくり」を力強く推進していく旨答弁しました。

続いて、ひたち未来の永山 堯康 議員です。

今後の教育行政について、質の高い教育環境をどのように保っていくのかという質問の主旨で、内容としましては、過酷な勤務実態にある教員が抱えるストレスは並大抵のものではないと聞いている。教員が「教える」という本来の目的に集中できる環境づくりと、働く環境をどのように改善し、質の高い教育を保っていくのか伺うというものでした。

こちらに対しましては、教員は、子どもたちの健やかな育ちに、使命感と誇りをもって教育活動に当たっているが、近年、学校や子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化し、教員の負担も大きくなり、その働き方が課題となっている。本市では、これまでも独自に、学校事務員、少人数指導教員などの配置を行うとともに、校務支援システムの導入や、今年度からのスクールロイヤーの導入など教員の負担を軽減するための様々な施策を講じている。今後も、教員が指導に集中できる環境を整えることで、子どもたちにしっかりと向き合うことのできる質の高い教育を推進していく旨答弁しました。

また、永山議員からはもう一点、いじめ防止や児童虐待防止の課題と今後の取組、児童相談所の在り方について、教育長の考えを伺う旨の質問がありました。

こちらに対しましては、各学校では、いじめを未然に防止するため、相談できる体制の充実を図り、子どもたちが「明日も学校に行きたい」と思える学校づくりを進めている。虐待を受けている子どもの命を守るためには、児童相談所の機能強化は急務と考えるので、人的な充実を県に要望するほか、日常的な教育・福祉の連携とともに、警察など、関係機関との連携・協力を更に強化し、まち全体で子どもたちの笑顔と元気を育みながら、みんなで成長を喜び合える教育の実現を目指していく旨答弁しました。

続いて、一般質問について御報告いたします。

まず、公明党の添田 絹代 議員です。

災害時対応の新たな取組として、市内小中学校での緊急リアルタイムの配信についての御提案で、校内放送設備と防災行政無線システムを連動させるシステムに改修することで、教室にリアルタイム

で災害情報が届けられ、避難行動の開始を早められると思うがいかがかという御質問でした。

こちらに対しましては、緊急情報をいち早く伝達できるというメリットがある一方で、緊急情報を児童・生徒が直接受け取ることで、動揺を招き、避難行動が遅れてしまうといったことも考えられるので、日頃から様々な災害を想定した訓練を重ねていくことが大切である。今後、児童・生徒が迅速かつ冷静に行動させるための方策について、調査、検討していく旨答弁しました。

続いて、日本共産党の千葉 達夫 議員です。

部活動の指導について、3点の質問がありました。

1点目は、高萩市立中学校の自死の問題を受けての県や市の対応はいかがだったのかという御質問でした。

こちらに対しましては、市では、大型連休明けに全ての児童生徒の安否確認を行い、全員の無事を確認したこと、連休明け初日、児童生徒が抱える諸問題について、組織的な取組を強化するよう、小・中・特別支援学校全校に通知をしたこと、更にその翌日には、すべての児童生徒と教職員、保護者に対して、教育長のメッセージを届けた旨の対応をしました。

県においては、5月9日に「緊急市町村立学校長研修会」を開催し、県教育長から、子どもたちの気になる様子を察知した際には組織的に対応すること等について、全ての教職員に周知するよう指示があった旨お答えしました。

2点目は、市内の教育の場で、教員の暴言など、感情が暴走する行為があるのか。また、ある場合は、どのように対応するのかという御質問でした。

こちらに対しましては、教職員が生徒の成長を促すためにかけた叱咤、激励が生徒に上手く伝わらず、結果として生徒を傷つけているものも見受けられる。教職員の不適切な指導等を未然に防止するため、市内全校でアンガーマネジメント研修を実施するなど、不適切な指導等の根絶に向けて取り組んでいる。全ての教職員が、学校は、生徒と保護者、教職員の信頼関係で成り立っていることを改めて認識し、学校が、生徒にとって常に安心して健やかに過ごせる場所であるよう、信頼される学校づくりを更に進めていく旨答弁しました。

3点目は、教職員の勤務の実態をどのように把握しているのかという御質問でした。

こちらに対しましては、本年4月から、勤務記録システムを導入し、教職員の日々の勤務実態の把握に努めているところである。今後は、勤務実態から把握した課題を踏まえ、教職員の負担軽減策を拡充するための更なる取組を検討すると共に、教職員自身の意識改革を働きかけていきたい旨答弁しました。

続いて、公明党の篠田 砂江子 議員です。

小中学校のエアコンの設置について、普通教室、特別教室、体育館への設置についてそれぞれ御質問がありました。

普通教室への設置については、6月16日に、小中学校31校、478教室へのエアコンの取付が完了し、試験運転を兼ねた運用を始めていること、特別教室については、利用頻度や活動内容などを勘案しながら、設置について検討していくこと、体育館については、まずは、現在整備を進めている久慈小学校の体育館にエアコンを設置し、導入経費、ランニングコストを含めた効果を検証した上で、今後の体育館へのエアコンの設置について検討していく旨それぞれ答弁しました。

続いて、ひたち未来の石井 仁志 議員です。

不登校生の現状と不登校傾向（グレーゾーン）の支援について、3点の御質問がありました。

まず、1点目は、不登校の児童生徒の現状と中学校の学年ごとの不登校生徒数を伺うという御質問でしたので、本年3月末時点の不登校児童生徒数についてお答えいたしました。

2点目は、適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」の趣旨及び活動内容を伺うという御質問でしたので、具体的な活動内容等についてお答えいたしました。

3点目は、不登校傾向（グレーゾーン）の支援について伺うというものでした。

こちらについては、一人一人の要因を見極め、校内会議で支援の方向性を明らかにした上で組織的な対応を行っており、保健室登校や特別な支援が必要な児童生徒に個別の対応を図っている旨説明した上で、今後も、子どもたち一人一人に寄り添ったきめの細かい対応を図り、学校生活の楽しさを実感することができるよう、引き続き支援を行っていく旨答弁いたしました。

続いて、民主クラブの粕谷 圭 議員です。

防犯・交通安全対策について、大津市の事故を踏まえ、日立市がかねてより実施している「通学路交通安全プログラム」において改善が進んでいない場所の安全対策を早急に進める必要があるが、その対策の一つとして、錯覚効果を活用した道路標示などの暫定対策を進めるべきと考えるがいかがかという御質問でした。

こちらに対しましては、「日立市通学路交通安全プログラム」においてこれまでに把握した713の危険箇所のうち、全体の94%に当たる670箇所の対策を講じてきたところであるが、残りの6%に当たる43箇所は、地権者と交渉中のものや、所有者の理解を求めているものなど、対策に時間を要しているものが多い状況である。まず、学校において、発達段階に応じた「危険予知トレーニング」を実施するとともに、通学路そのものの変更、防犯サポータ

ーによるパトロールなど、地域の理解と協力をいただいているところである。錯覚効果を活用した道路標示についても、新たな対策の一つとして研究・検討していく旨答弁しました。

また、幼稚園や保育園周辺での園外活動における交通安全確保の取組の現状と改善策について伺いたいという御質問もありました。

こちらについては、園外活動の実施に当たっては、職員があらかじめ現地を下見した上で、「散歩コースマップ」を作成し、コース上の注意点などの情報を職員間で共有している。また、安全確保のための改善策として、ドライバーに注意を促すための路面標示や、横断歩道の修復などを実施しており、今後も、地域の子どもたちを見守る保護者や地域の方々からの御意見を受け止め、安全確保に向けた具体的な対策を講じていく旨答弁しました。

続いて、日立市政クラブの今野 幸樹 議員です。

児童・生徒の負担軽減及び良好な環境への取組について、2点御質問がありました。

1点目は、体育館等の暑さ対策について、昨年9月の市議会定例会で体育館へのエアコン設置について御質問があり、体育館の風通しを良くする工夫、暑い空気を逃すなどの対策を早急に講じるよう要望いただいたところです。

その後の整備方法の検討状況と、風通しを良くする工夫等について伺うという御質問でした。

こちらに対しましては、先程の篠田議員の答弁の中でも御説明しましたが、久慈小学校の体育館に導入するGHP方式の機器等について検証した上で、各校への整備について検討していくことと、体育館の暑さ対策については、窓を全て開け放ち、活動エリアの風通しの確保を図り、昨年までに効果が認められたミストシャワーの活用等を含め、学校と協議しながら対策を実施していく旨答弁しました。

2点目は、小中学生が登下校する際の荷物の重さについて、こちらも昨年9月に御質問があり、検討・研究し、工夫して実施していく旨答弁したところですが、十分な配慮がなされていないという御指摘でした。

こちらに対しましては、各学校に対し、適切な配慮を講じるよう促したところであるが、課題も多く、十分な効果が得られていないという実情について説明しました。

そのような状況の中、今年度、助川小学校において、保護者の協力も得ながら、家庭学習で使用しない教科書等を原則として持ち帰らない取組を試験的に始めており、この実践を通して、各校と情報を共有し、できるところから、随時、取り組んでいく旨答弁しました。

最後に、ひたち未来の伊藤 智毅 議員です。

子どもたちの安全対策について、3点御質問がありました。

1点目は、通学路等の危険箇所点検の現状と改善実態と課題に関する内容で、先程の粕谷議員からの質問と関連する部分もありましたが、通学路交通安全プログラムの中に、幼稚園や保育園も包含させ、危険箇所点検と改善の仕組みを再構築してはどうかという御提案でした。

こちらについては、周辺地域全体の安全対策の強化にも繋がることから、実施に向けた協議を進めていく旨答弁しました。

2点目は、幼・保・小中学校における学校事故等の現状と課題について、事故の発生状況について、どのようなけがや事故が多いのか、原因の分析も含めて伺うという御質問でした。

こちらに対しましては、平成30年度の公立保育園・幼稚園等の施設内事故は4件のみであったこと、小・中・特別支援学校における学校管理下の事故は127件であったことを御報告しました。

小学校での主な原因は、遊具からの落下など、自らの不注意によるものや児童同士のふざけあい、交通事故などで、未然防止策として、先程も御説明した「危険予知トレーニング」を取り入れた安全指導を行っていることを御説明しました。

中学校での主な原因は、生徒同士の接触による転倒や、不意にボール等が当たったものなどで、対応策としては、教員と生徒による施設・設備や用具等の二重の点検のほか、生徒の体調を考慮した活動計画を立てることにより、事故の未然防止に努めている旨答弁しました。

3点目は、危険箇所や事故、事件に対する総合的な安全対策について、危険箇所の解消率の向上が高められるような新たな仕組みづくりが必要と考えるが、重大事故や重大事件等に対する総合的かつ具体的な安全対策をどのように進めていく考えか伺うという御質問でした。

こちらに対しましては、新たな仕組みづくりとして、専門家の視点を取り入れるため、新たに、有識者に相談できる体制づくりを進め、重大事件への対応も想定し、関係機関との連携をより強化するなど、子どもたちの総合的な安全対策に繋げていく旨答弁しました。

続きまして、教育福祉委員会についてです。

議案は1件で、令和元年度日立市一般会計補正予算についてです。内容については、先月の教育委員会定例会で議決いただいたものと同一のもので、明後日の議会最終日に議決いただける見込みとなっております。

また、報告事項の3件についても、御承認をいただける見込みです。

## (2) 第7次行財政改革の推進状況について

教 育 長 それでは次に、その他(2)について、教育部長から説明をお願いします。

教 育 部 長 第7次行財政改革の推進状況について、教育委員会所管部分について御説明いたします。

まず、「学校給食共同調理場の統合」についてです。本件は、宮田調理場と十王調理場を統合し、新たな調理場を建設するとともに、調理業務等を民間企業に委託することで、業務の効率化を図るものです。

新調理場の建設につきましては、平成31年3月に予定どおり建設工事が完了し、4月からは「北部学校給食共同調理場」として市北部の小中学校21校分の給食を提供しております。

また、北部、南高野の両調理場の調理業務につきましては、公募型プロポーザル方式により決定した民間企業に委託し、業務の効率化を図りました。

次に、「スポーツ広場等の在り方検討」についてです。本件は、スポーツ施設の利用状況や管理方法などの観点から、それぞれの施設の課題を整理し、施設の在り方を検討するものです。

昨年度は、市民運動公園相撲場を廃止・撤去する方針を決定しましたので、本年度は撤去工事に着手してまいります。

その他、所管するスポーツ施設につきましては、昨年度策定した教育振興基本計画の中で、整備方針等の整理を行ったところです。

次に、「視聴覚センターの在り方検討」についてです。本件は、視聴覚センターが行っている教材貸出しや映像教材の制作、映像文化振興に係る自主事業等の業務を統合、あるいは外部委託によって効率化する可能性を検討しております。

昨年度の取組では、教材貸出し業務の在り方について記念図書館と協議し、個人貸出しについては記念図書館、団体貸出しについては視聴覚センターと分けることで業務の効率化を図ることについて確認したところです。

引き続き、所管する業務の方向性などを整理しながら、今後の在り方について検討してまいります。

次に、「効果的・効率的な図書館運営方法の検討」についてです。本件は高度化・多様化する市民ニーズに対応するため、多様な主体との協働による効果的・効率的な図書館運営方法を検討するものです。

昨年度は、図書館運営方法を検討するワーキング会議において、指定管理者制度を導入した場合の課題整理を行ったほか、先進地視

察等を行い、他の自治体の効果的・効率的な取組事例について調査・研究を行いました。

引き続き、市民のニーズに的確に対応できるよう図書館の運営方法について検討を進めてまいります。

最後に、「電子書籍貸出サービスの導入検討」についてです。本件は、ICTを活用した図書館での電子書籍貸出サービスの導入について調査、検討を進めるものです。

昨年度は、導入効果や課題の検証を行いました。図書館用の電子書籍データは新刊本が少ないなどの課題が見えたことから、今後も動向を注視しながら、引き続き検討を進めていくこととしました。

委員 2つの項目について質問させていただきます。

まず1つは、「視聴覚センターの在り方検討」について、個人・団体の資料等の貸出しを行っているとのことですが、貸出しの実績について教えていただけますか。

視聴覚センター所長 資料用DVD等の個人貸出しは、平成28年度は1,534件、平成29年度は1,879件、平成30年度は1,534件でした。

団体貸出しについては、平成30年度の実績になりますが、学校教育として116件、社会教育として1,777件でした。

委員 ありがとうございます。

要望なのですが、先程の説明の中で平成30年度の推進状況として、教材貸出業務を個人貸出しは図書館、団体貸出しは視聴覚センターとする方向性を確認したということで、検討内容は分かったのですが、利用する側にとっては、借りる際にどちらに行ったらよいか分かりにくいのではないかと、サービスの後退になると受け取られかねないか気になります。

今回、在り方を検討するということですので、貸出しの窓口を分けるということに留まらずに、図書館と視聴覚センターの組織の統合も含めて、踏み込むべきなのではないかと感じました。

その上で、組織を見直すということになれば、それぞれの窓口機能の役割を整理することになると思いますので、ぜひ市民目線を基本に考えて、運営をしていただければと思います。

視聴覚センター所長 貸出しについて、映像（DVD）については、現在図書館においても個人貸出しを行っています。

視聴覚センターでは、団体と個人両方に貸出しを行っています。本来視聴覚センターは団体貸出しが主な業務となっていたところを、図書館での貸出しを行っていない時期に業務の見直しを行

い、貸出しを開始した経緯がありました。

個人貸出し用のDVDを視聴覚センターで購入する際、映像文化製作者連盟から許可をいただく必要があり、図書館が購入する場合より高額になるなど課題もございますので、図書館と視聴覚センターの統合につきましては、今後引き続き検討させていただきたいと思っております。

委員 よろしくお願ひいたします。

2点目の質問です。教育委員会関連ではありませんが、資料の中に「タブレット端末等を活用した電子会議の推進」について記載があり、平成30年度効果の検証を行ったとのことですが、検証の結果についてお分かりであれば教えてください。

総務課長 タブレット端末等を活用した会議は、昨年の7月から庁議等で実施されているところで、現在市長部局の行政マネジメント課を中心に全庁的に検証を行っています。

電子会議については、今後、全庁的に展開していく方向で検討を進めていると伺っています。

教育委員会においてもその状況を踏まえつつ、今後の導入に向けて検討していきたいと考えております。

委員 今日の資料もそうなのですが、毎回教育委員会の会議に出席すると、提供される資料のページ数が多く、紙もたくさん使っていて、準備する事務局の作業量は膨大なのではないかと想像されます。

また、その上で訂正や差替えがあると、その都度手間がかかり、大変だろうといつも考えています。

教育委員会でもタブレット端末の導入を考えていただいているとのことですので、紙のコストや事務局の作業人件費を考慮すると、導入費と比較したときにそれほど差はないのではないかと思います。ぜひ、前向きな検討をお願いいたします。

### (3) 平成30年度審議会等の開催状況について

教育長 それでは次に、その他(3)について、総務課長から説明をお願いします。

総務課長 教育委員会が設置しております10の審議会や委員会などについて、平成30年度の開催状況を報告いたします。

「奨学生選考委員会」は、例年どおり、奨学生の選考を行うために、3月に開催し、21人の奨学生を選考しました。

「小中学校学区審議会」は、平成29年度に続き、昨年度も教育委員会からの諮問がなかったことから、開催はしませんでした。

「教育支援委員会」は、6回の会議を開催し、特別な支援が必要と思われる児童生徒の適正な就学先などについて、審議を行いました。

「社会教育委員会」は、4回の会議を開催し、昨年度策定した日立市教育振興基本計画のうち、主に生涯学習に関わる内容や学校運営協議会及び地域学校協働活動などについて協議いたしました。

「いじめ調査委員会」は、教育委員会からの諮問はありませんでしたが、1回の会議を開催し、本市のいじめの現状と取組について、審議を行いました。委員からは、教員が子どもと向き合う時間を確保する必要があるなどの意見がありました。

「文化財保護審議会」は、3回開催し、大久保鹿嶋神社の流鏝馬の市指定文化財への指定などについて、調査・審議を行いました。

「郷土博物館協議会」は、1回の会議を開催し、平成31年度の事業について協議し、事業を充実させることで、博物館が広く親しまれる機会を増やしてほしいといった意見をいただきました。

「市立図書館協議会」は、5回の会議を開催し、平成29年度の事業報告を行うとともに、平成30年度の事業計画について審議を行いました。また、指定管理者制度導入検討の一環として、委員の方々に守谷市立図書館、龍ヶ崎市立図書館に視察に行っていたいております。

「視聴覚センター運営委員会」は、2回の会議を開催し、平成30年度の事業報告を行うとともに、平成31年度の事業概要について、審議を行いました。

「学校給食共同調理場運営審議会」は、教育委員会からの諮問がなかったことから、開催しておりません。

#### (4) 教育委員会関連行事等について

教 育 長     それでは次に、教育委員会関連行事等について、説明をお願いします。

##### ア 学校夏季休業期間中の教育委員会関連行事について

総 務 課 長     学校の夏休み期間中に実施する行事について、御案内するものです。

この後、説明させていただく「日立市一斉ラジオ体操の日」や「日立市教育振興大会」など、委員の皆様には、お忙しいこととは思いますが、御出席が可能な行事がございましたら、ぜひ会場まで足をお運びくださるようお願いいたします。

## イ 日立市一斉ラジオ体操の日の実施について

**生涯学習課長** 御承知いただいておりますとおり、ラジオ体操には健康づくりや生活リズムづくりなどのほか、地域の皆さんで取り組んでいただくことで、コミュニケーションの場となるなど様々な効果が期待されているところです。

ラジオ体操の普及に取り組んだ一昨年度には、NHKラジオ第1放送の「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を実施し、考案者の遠山喜一郎氏の認知やラジオ体操普及の大きな契機となったものと考えております。

こうした機運を一過性のものとせず、継続した取組としていくため、昨年を引き続き、日立市一斉ラジオ体操の日を実施するものです。

また、毎年夏休み最初の日曜日を日立市一斉ラジオ体操の日としまして、夏の恒例行事として定着させ、市民みんなでラジオ体操を行う機会を作ることと併せて、夏休み期間中に10日以上実施していただく、「夏休みチャレンジ・ラジオ体操」への参加促進を図りたいと考えております。

今年は、7月21日が夏休み最初の日曜日となります。実施方法としましては、午前6時30分からのラジオ放送と合わせて、23のコミュニティごとに行っていただくことを基本としておりますが、町内会ごとや子ども会ごと、更には家族単位など、実施単位や場所を問わずに、日立市民が一斉にラジオ体操に取り組むことを推奨してまいります。

また、多くの市民の参加を促すため、最初の日曜日以外の日で、コミュニティなどが地域イベントに合わせて日を決めて実施した場合でも、事業に参加いただいたものとみなしたいと考えております。

さらに、日立市ラジオ体操普及協議会の主催会場として、市庁舎の大屋根広場においても実施し、ポイントレッスンなども併せて行いたいと考えております。

## ウ 第62回桐生市臨海子ども会の実施について

**生涯学習課長** 桐生市臨海子ども会は、桐生市、桐生市教育委員会、桐生市子ども会育成団体連絡協議会が主催し、日立市といたしましても、60回以上継続実施される親善都市交流のきっかけとなっていること、東日本大震災の年には中止となりましたが、以後徐々に参加者が増えていること、さらに、海水浴客数の回復が思わしくない中、安全

性のPR効果も高いことなどから、子ども同士の交流を進めるため、積極的に関わっている事業です。

開催場所は、河原子海水浴場と河原子旅館組合所属旅館で、今年は6つの民宿・旅館を利用します。

開催期間は、7月26日(金)から7月30日(火)までの5日間で、2団編成で各団2泊3日です。

参加者については、桐生市の小学3年生以上の子ども会会員と育成会の会員や指導者です。

行事内容の中で、日立市の子どもとの交流事業としましては、7月26日に歓迎式典とキャンプファイヤーを予定しておりますが、こちらは第1団のみの事業となっています。

地引網については、7月27日及び29日でこちらは第1団、第2団合わせて、河原子地区の子どもたちを中心に、桐生の子どもたちとの交流を深めてまいります。

それ以外の事業の中では、海水浴を中心に、桐生の子どもたちに日立の海を存分に楽しんでもらいたいと考えております。

また、昨年までの交通手段として貸切列車を用意しておりましたが、今年度から貸切バスに変更になることなどから、桐生市側の負担も増えている状況にあります。

そのため、桐生市子ども会育成団体連絡協議会等に対して助成を行い、事業の安定的な継続を図ってまいりたいと考えております。

## エ 第90回都市対抗野球大会について

**教 育 部 長** 日立市代表・日立製作所が出場する第90回都市対抗野球大会について、御説明いたします。

試合日程は、7月17日(水)午後6時プレイボールとなります。

対戦相手は、室蘭市の日本製鉄室蘭シャークスで、会場は東京ドームです。

日立製作所は2年ぶり37回目の出場で、今回も本大会に向けた壮行会を開催いたします。

日時は7月4日(木)午後6時から1時間の予定で、場所は日立シビックセンターアトリウムです。

## オ 令和元年度日立市教育振興大会の開催について

**指 導 課 長** 開催の趣旨は、日立市内の教職員及びPTA会員が一堂に会し、日頃の教育実践研究の成果等を称えるとともに、教育の今日的な課題を捉え、より望ましい教育の在り方を研修することにより本市教育の振興を図るものとしています。

主催は、日立市教育委員会、日立市教育研究会、日立市立幼稚園教育研究会、日立市立小・中学校PTA連合会です。

期日は8月2日(金)、会場は日立市民会館です。

主な日程及び内容としまして、開会は午後1時で、全体で3部構成となっています。

開会行事の後、第1部は永年勤続者の表彰で、今年度の表彰者は33名です。

第2部は研究発表で、平成30年度第65回日立市教育論文の審査報告並びに最優秀論文発表、併せて特色あるPTA活動発表を行います。

第3部は教育講演会で、講師は東京理科大学教授の宮武久佳氏です。宮武氏は、共同通信の取材記者、デスクを約25年間務められ、メディアジャーナリズム論を専門としています。演題は、「地球市民のコミュニケーション力」です。

その後、閉会、記念撮影を行い、午後4時30分の終了を予定しております。

## 5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長     それでは、次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長     令和元年7月25日(木)午後3時から、日立市役所4階庁議室で開催予定です。

## 6 閉 会

教 育 長     以上をもちまして、教育委員会6月定例会を終了します。

以 上